



PDA 即興型英語ディベート キーノートディベート (5月)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年5月29日(日) 10:30-12:00

会場：オンライン (Zoom)

参加者：14名 (ディベーター7名、ジャッジ1名、オーディエンス6名)

はじめに PDA 代表理事中川智皓より、本日のキーノートスピーカーである早稲田大学国際学術院教授 石川竜一郎先生の紹介がありました。石川先生は、ゲーム理論や情報経済学の専門で、研究を通じた知見を社会に還元するための活動をされています。

キーノートスピーカー紹介後は、早速チーム分けと論題が発表されました。



キーノートスピーカー紹介

ディベートの様子

キーノートディベートの論題は、**Courts should be judged by AI rather than a jury.** (裁判をするのは陪審員よりも AI が良い) でした。4月のキーノートディベートでは AI についてキーノートスピーチが行われ、関連する論題に4月の参加者は心を踊らせた。

ディベートが始まると、AI と人間ではどちらの方がより公平なジャッジができるのか、陪審員の心理的負担はどれほどか、AI は情状酌量が必要な際に対応できるのかなどについて時には POI で質疑応答を行いながら議論を深めました。

ディベート後はジャッジを希望した参加者が勝敗、理由、個人コメント、ベストディベーター、ベスト POI の発表を行いました。



スピーチの様子

キーノートスピーチの様子

キーノートスピーチでは、石川先生より、現状の陪審員制度についてや、陪審員をAIに委ねるといったことはいったい何を意味するのかといった内容について、石川先生の研究テーマであるゲーム理論に触れながらご説明いただきました。

また、ディベートを通して、どのようなことが論点になるのか、今回のディベートでは出なかった論点として重要なものには何があるのかなどについても解説いただきました。

キーノートスピーチ後は、参加者から質問の手がたくさん上がり、アルゴリズムを一般大衆に理解できるようにした場合のリスクや、多数決が民主的で良いとされているものの、そこには限界があるということについてもさらに解説していただきました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ キーノートレクチャーに関連したトピックをディベートすることで、よりレクチャーへの理解が深まり、とても良いと思いました。また、ディベートも他の方のスピーチを聞くことで、勉強になります。また、次回も参加したいです。
- ・ ディベートの方法を学ぶと共に、本日のお題の裁判でのAIの導入について、知らないことをいろいろ学ぶ事ができました。
- ・ 深い思考と英語によるその発信が即興的、同時発生的に起こる脳の作用が深い学びにつながることを再認識しました。本当にありがとうございました。
- ・ 毎回緊張しますが、頑張っていきます。もっと早くディベートに出会いたかったなあ。
- ・ 何となく感覚でそうではないかな、と思っていることを言葉で適切に表現することの難しさがディベートを行うとよくわかります。長くディベートを行っていなかったので自分としてはいい経験になりました。論題に関しては、石川先生から非常にクリアにAIジャッジについてレクチャーをして頂き、とても興味深く勉強になりました。アルゴリズムの倫理的な問題の新たな一面を知ることも出来ました。参加してよかったです。ありがとうございました😊。